

幸せを実感できる

まちづくりに **115** 億円

お知らせします！

**まちの行財政 2020**

岩手県葛巻町 令和2年度予算説明書



岩手県 葛巻町長  
鈴木重男

町民の皆様には、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和2年度は、町村合併から65周年を迎える記念すべき年であり、これまでも取り組んで参りました「幸せを実感できる“まち”」を基本理念に据え、「ひと・地域・資源」を活かした「一歩先行くまちづくり」に果敢に挑戦し、夢を実現（かたち）にするために、新たに町総合計画・中期基本計画と第2期総合戦略をスタートいたします。

現在、町が最重要課題として位置付けている「人口減少問題」は、当町のみならず全国的にも厳しさを増し、地方創生による地域間競争が激化しております。そのなかで当町では、「地域資源を活かす“しごと”」「いきいきと輝き続ける“ひと”」「誰もが住みたくなる“まち”」を基本目標に掲げ、くずまき型DMO事業、くずまき型持続可能な産業づくり支援事業や基幹産業担い手確保事業など活力ある産業の創出、町民所得の向上を目指すとともに、妊娠・出産期から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供し、子どもを安心して産み育てられる環境づくりに努めて参ります。

また、新たなまちづくりに向けた推進体制の強化を図るため、行政組織機構の見直しを行い、多様化・複雑化するニーズにスピード感を持って取り組んで参ります。

本年度も町民の皆様と行政が一体となり、「郷土くずまき」に誇りと愛着を持ち、希望に満ち溢れたまちを実感することのできるまちづくりを進めて参りたいと考えておりますので、今後とも行政運営に対しまして、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年5月

## 目次

1p	発行にあたって
2p	まちの予算の状況
6p	総合計画体系別の予算の状況
21p	まちの決算の状況
28p	まちの財務書類
30p	まちの行政組織

# 令和2年度 まちの 予算 の状況

## ■予算額 (令和元年度対比)

令和2年度の町の一般会計予算は、役場新庁舎建設事業や道の駅レストラン建設事業、高齢者福祉施設整備事業などに係る予算を計上し、予算総額では前年比2.8%減の67億9,716万円となりました。特別会計は、3つの会計の合計が11億3,823万円で、一般会計と3つの特別会計の合計額は、79億3,539万円（前年度比3.7%減）となっています。

企業会計では、病院事業会計が職員住宅整備事業に係る予算の計上により支出ベースで12億2,661万円（前年度比3.7%増）となり、水道事業会計については、支出ベースで2億9,802万円（前年度比3.7%減）となっています。

役場新庁舎建設事業費、酪農ヘルパー住宅整備事業、草地畜産基盤整備事業など、令和元年度から令和2年度に繰り越される事業費は、総額で20億6,450万円となり、全ての会計の当初予算と繰越予算額を合わせた総予算額は115億2,452万円となっています。

### 一般会計・特別会計

会 計 名	令和2年度	令和元年度	増 減 額 (伸率)
一 般 会 計	67億9,716万円	69億9,217万円	△1億9,501万円 (△2.8%)
特 別 会 計	11億3,823万円	12億5,117万円	△1億1,294万円 (△9.0%)
国民健康保険事業勘定	8億4,505万円	9億6,631万円	△1億2,126万円 (△12.5%)
農業集落排水事業	2億1,552万円	2億1,259万円	293万円 (1.4%)
後期高齢者医療事業	7,766万円	7,227万円	539万円 (7.5%)
合 計	79億3,539万円	82億4,334万円	△3億795万円 (△3.7%)

### 企業会計

会 計 名	令和2年度	令和元年度	増 減 額 (伸率)		
病院事業会計	収益的収支	収 入	10億8,027万円	11億60万円	△2,033万円 (△1.8%)
		支 出	10億9,802万円	11億60万円	△258万円 (△0.2%)
	資本的収支	収 入	9,098万円	4,471万円	4,627万円 (103.5%)
		支 出	1億2,859万円	8,189万円	4,670万円 (57.0%)
水道事業会計	収益的収支	収 入	1億6,716万円	1億9,078万円	△2,362万円 (△12.4%)
		支 出	1億9,508万円	2億721万円	△1,213万円 (△5.9%)
	資本的収支	収 入	5,565万円	6,192万円	△627円 (△10.1%)
		支 出	1億294万円	1億227万円	67万円 (0.7%)
前年度からの繰越	20億6,450万円	11億8,430万円	8億8,020万円 (74.3%)		
総 合 計	115億2,452万円	109億1,961万円	6億491万円 (5.7%)		

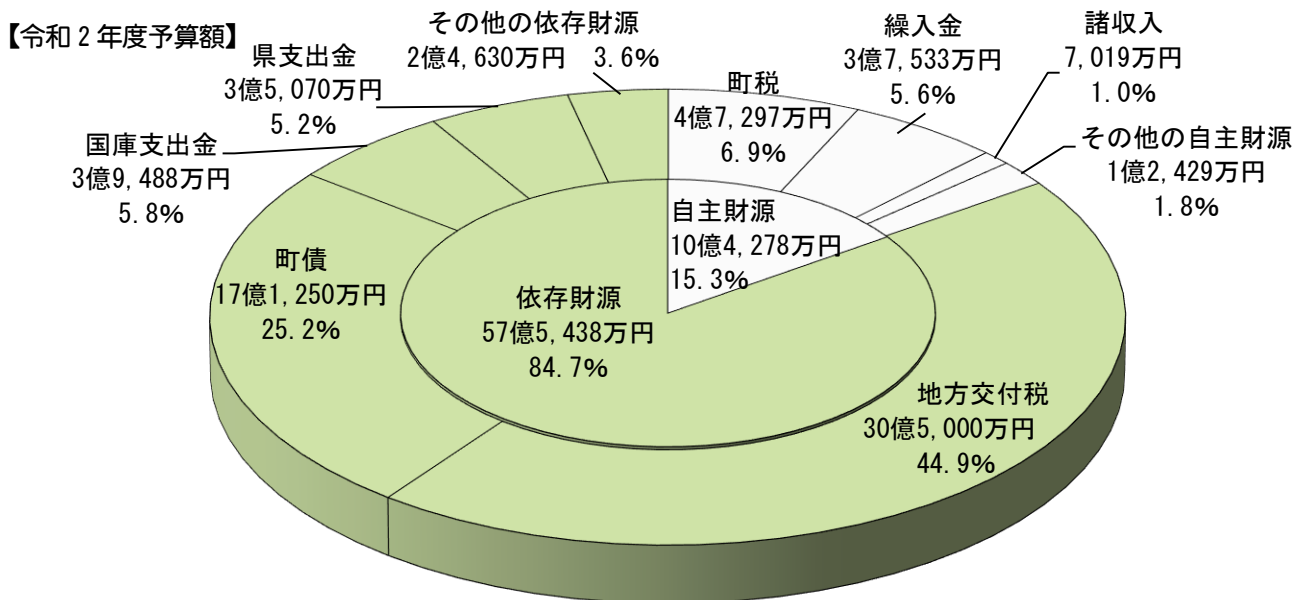
※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、病院建設などの建設改良等に係る収入と支出のことをいいます。

## ■一般会計 歳入 (入ってくるお金)

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

令和2年度予算の自主財源割合は15.3%で、令和元年度の16.8%に比べ1.5ポイント減少しています。

項 目		令和2年度予算額 (構成比率)	令和元年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	4億7,297万円 (6.9%)	4億7,243万円 (6.7%)	町民の皆さんからの税金
	繰 入 金	3億7,533万円 (5.6%)	5億 399万円 (7.2%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	諸 収 入	7,019万円 (1.0%)	8,396万円 (1.2%)	町税等の延滞金や町預金利子等
	分担金及び負担金	4,907万円 (0.7%)	4,026万円 (0.6%)	保育所や養護老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	7,522万円 (1.1%)	7,696万円 (1.1%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	30億5,000万円 (44.9%)	29億3,000万円 (41.9%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	17億1,250万円 (25.2%)	18億6,330万円 (26.7%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	3億9,488万円 (5.8%)	5億1,931万円 (7.4%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	3億5,070万円 (5.2%)	3億1,106万円 (4.5%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	1億1,590万円 (1.7%)	7,200万円 (1.0%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1億3,040万円 (1.9%)	1億1,890万円 (1.7%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		67億9,716万円 (100.0%)	69億9,217万円 (100.0%)	前年比 1億9,501万円減



### ●歳入 (令和2年度予算と前年度予算との比較)

R2	依存財源 57.6億円 84.7%			自主財源 10.4億円 15.3%
	地方交付税 30.5億円 44.9%	町債 17.1億円 25.2%	その他依存財源 10億円 14.6%	
R1	依存財源			自主財源
	地方交付税 29.3億円 41.9%	町債 18.6億円 26.6%	その他依存財源 10.2億円 14.6%	自主財源 11.8億円 16.9%
	依存財源 58.1億円 83.1%			

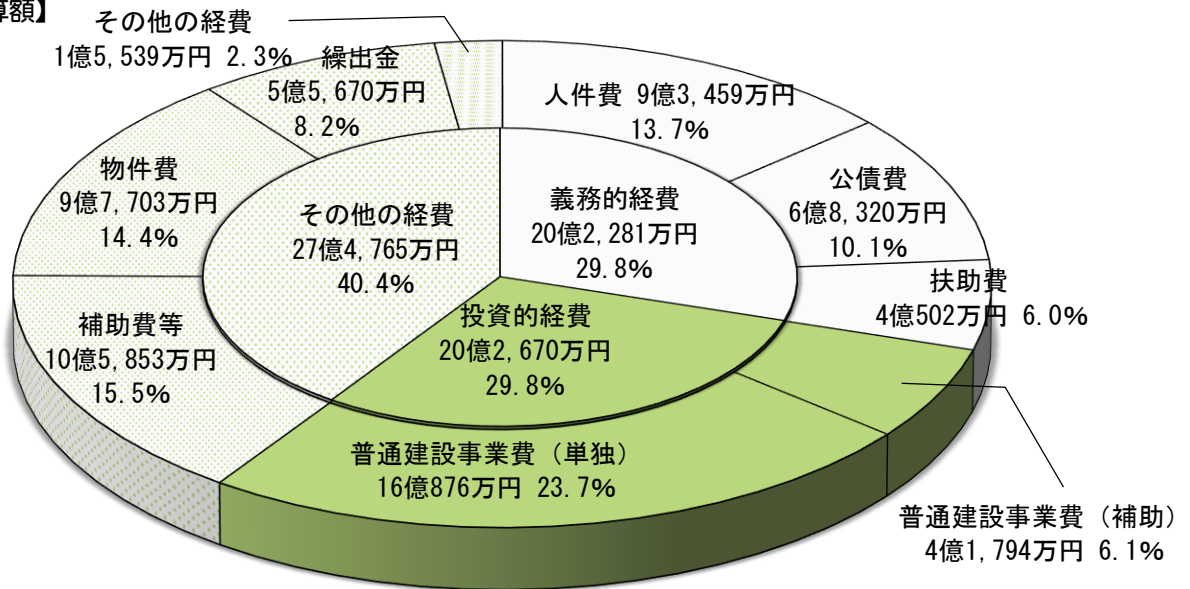
# ■一般会計 歳出 (出ていくお金)

## ●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		令和2年度予算額 (構成比率)	令和元年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	9 億 3,459 万円 ( 13.7%)	8 億 3,150 万円 ( 11.9%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	6 億 8,320 万円 ( 10.1%)	6 億 1,598 万円 ( 8.8%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	4 億 502 万円 ( 6.0%)	4 億 199 万円 ( 5.8%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補 助)	4 億 1,794 万円 ( 6.1%)	4 億 7,923 万円 ( 6.9%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	16 億 876 万円 ( 23.7%)	17 億 8,613 万円 ( 25.5%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災 害 復 旧 事 業	- 万円 ( - %)	- 万円 ( - %)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	10 億 5,853 万円 ( 15.5%)	10 億 4,968 万円 ( 15.0%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	9 億 7,703 万円 ( 14.4%)	10 億 7,301 万円 ( 15.3%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	5 億 5,670 万円 ( 8.2%)	5 億 5,975 万円 ( 8.0%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	1 億 5,539 万円 ( 2.3%)	1 億 9,490 万円 ( 2.8%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		67 億 9,716 万円 (100.0%)	69 億 9,217 万円 (100.0%)	前年比 1 億 9,501 万円減

【令和2年度予算額】



## ●性質別歳出内訳 (令和2年度予算と前年度予算との比較)

R2	人件費 9.3 億円 13.7%	公債費 6.8 億円 10.1%	扶助費 4.1 億円 6.0%	投資的経費 20.3 億円 29.8%	補助費等 10.6 億円 15.5%	物件費 9.8 億円 14.4%	その他の経費 7.1 億円 10.5%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	
R1	人件費 8.3 億円 11.9%	公債費 6.2 億円 8.8%	扶助費 4.0 億円 5.8%	投資的経費 22.7 億円 32.4%	補助費等 10.5 億円 15.0%	物件費 10.7 億円 15.3%	その他の経費 7.5 億円 10.8%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	

## ●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

項目	令和2年度予算額 (構成比率)	令和元年度予算額 (構成比率)	摘要
総務費	17億2,992万円 (25.5%)	22億7,009万円 (32.5%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
民生費	10億9,055万円 (16.0%)	10億6,897万円 (15.3%)	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛生費	8億8,167万円 (13.0%)	8億6,204万円 (12.3%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農林水産業費	7億4,055万円 (10.9%)	6億6,775万円 (9.6%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
公債費	6億8,325万円 (10.1%)	6億1,604万円 (8.8%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土木費	5億9,469万円 (8.7%)	5億283万円 (7.2%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教育費	4億5,778万円 (6.7%)	4億6,913万円 (6.7%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
消防費	4億3,743万円 (6.4%)	3億3,482万円 (4.8%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
商工費	7,769万円 (1.1%)	1億円 (1.4%)	商工業振興や観光振興などにかかる経費
その他の経費	1億363万円 (1.6%)	1億50万円 (1.4%)	議会費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合計	67億9,716万円 (100.0%)	69億9,217万円 (100.0%)	前年比1億9,501万円減

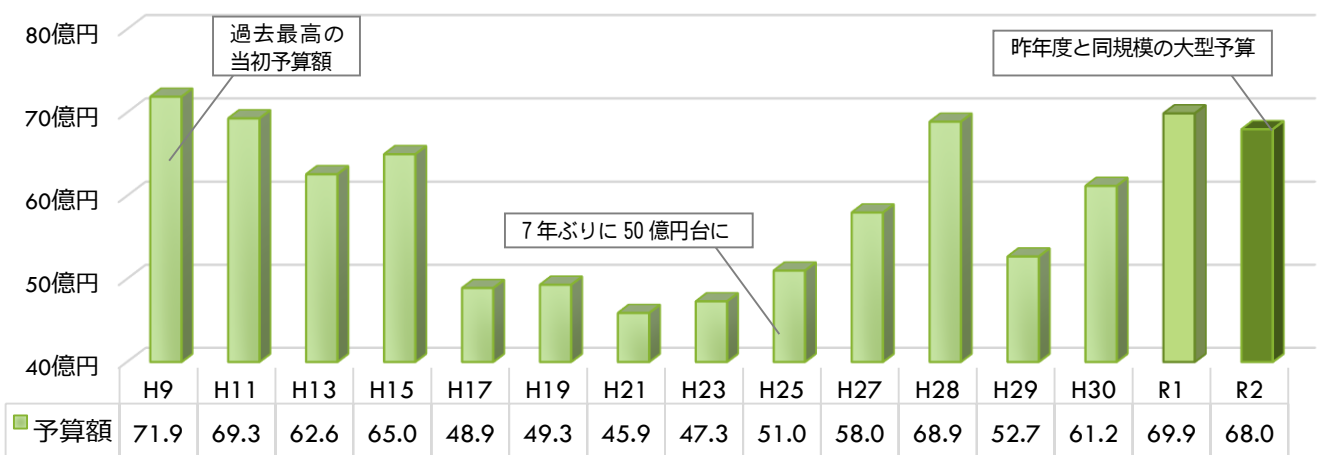
## ●目的別歳出内訳 (令和2年度予算と前年度予算との比較)

	総務費	民生費	衛生費	農水費	公債費	土木費	教育費	その他
R2	17.3億円 25.5%	10.9億円 16.0%	8.8億円 13.0%	7.4億円 10.9%	6.8億円 10.1%	6.0億円 8.7%	4.6億円 6.7%	6.2億円 9.1%
R1	22.7億円 32.5%	10.7億円 15.3%	8.6億円 12.3%	6.7億円 9.6%	6.2億円 8.8%	5.0億円 7.2%	4.7億円 6.7%	5.3億円 7.6%

## ■一般会計当初予算額の推移

平成9年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71.9億円を最高に右肩下がりに転じましたが、平成25年度以降は50億円を超える水準で推移しています。

今年度の当初予算は、役場新庁舎建設事業や道の駅レストラン建設事業等により昨年度と同規模の68.0億円となっています。



予算総額の115億2,452万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

## 1 いきいきと輝き続ける“ひと” 44億4,435万円

### 1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億2,105万円

(1) 子育て環境の充実  
2億2,105万円

児童館の運営	176万円
児童福祉の充実	8,680万円
保育所の充実	1億3,249万円

### ■ 主な事業と予算

- 保育所運営のさらなる充実・保育士等の資質・能力向上に努めるとともに、就学前の子どもの成長を支え、小学校への円滑な就学を図ります。
- 食育推進計画に基づき、地域特性を生かした「食育」を推進します。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成等の事業を推進し、町内での子育てを支援します。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】 幼児教育アドバイザー  
60万円〈こども教育課〉

幼児教育の専門家による幼児教育アドバイザーを配置し、各保育園における巡回指導や助言をいただくことで、効率的な保育園運営と保育士の資質・能力向上を図ります。

【事業内容】

- 幼児教育アドバイザー 1名



園内行事を楽しむ保育園児

【継続】 マタニティライフサポート助成事業  
130万円〈健康福祉課〉

出産を迎えるにあたり必要な用品のほか、健診時の交通費等を支援することで、経済的負担を軽減し、安心して出産することができる環境づくりを推進します。

【事業内容】

- 交通費等一律5万円の助成
- 宿泊費助成 上限1万円

【継続】 子ども・生徒医療費助成事業  
1,415万円〈住民会計課〉

県では、令和2年8月から子ども医療費助成制度の現物給付の対象を中学生まで拡大します。

町では、県の制度に加え、高校生までの医療費助成を継続して行い、子育て世代の負担軽減を図ります。

【事業内容】

- 医療費の一部負担金を全額助成

## 2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 5億2,087万円

(1) 教育の充実 4億465万円	小中学校教育の充実 3億2,063万円 高等学校教育の充実 8,402万円
(2) 生涯学習の充実と文化の継承 4,103万円	生涯学習の充実と文化の継承 4,103万円
(3) 生涯スポーツの推進 7,519万円	生涯スポーツ・レクリエーションの推進 7,519万円

### ■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を生かした教育を推進します。また、安全安心な教育環境の構築のため、学校施設等の整備に努めます。
- 公営学習塾を継続して運営し、個々のニーズに合わせたフォローを行うことで、進路達成に向けた学力向上や人材育成に寄与します。
- スポーツ施設の改修により、町民の利用促進だけでなく、町外からの誘客を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【継続】 公営学習塾運営等事業  
2,758万円〈こども教育課〉

葛巻高等学校の生徒を対象とした個別指導による通年学習塾「葛巻町学習塾」を運営し、生徒が抱く夢と未来の実現を後押しします。希望者には有料の軽食や帰宅バス運行など利用しやすい環境を整えています。

また、映像教材（希望者・一部有料）を導入しており、葛巻高等学校と連携しながら、さらなる生徒の学力向上を目指します。

【事業内容】

- 公営学習塾運営の委託
- 帰宅バスの運行



タブレットを使用して学習する葛巻生

【継続】 山村留学生寄宿舎運営事業  
4,092万円〈こども教育課〉

町が持つ多面的な資源を活用した教育環境を提供することにより、自ら学ぶ意欲と社会貢献の心を育むことを目的に、全国から葛巻高等学校に入学する生徒を山村留学生として受け入れます。山村留学生は、寄宿舎で自分たちの生活を自分たちで考えながら共同生活を送ります。

【事業内容】

- ハウスマスターによる生活指導
- 調理業務の委託

【継続】 学力向上支援事業等  
1,521万円〈こども教育課〉

小中学校における児童生徒の学力向上やきめ細やかな学習支援、児童生徒指導を目的として、継続して各支援員等を配置します。

【事業内容】

- 学力向上支援員 3名
- 外国語教育支援員 1名
- 学校教育アドバイザー 1名
- 特別支援教育支援員 5名



**【継続】スポーツツーリズム奨励事業**  
230万円〈まなび交流課〉

交流人口の拡大による地域活性化を図るため、町外スポーツ団体が町で行う合宿宿泊費の支援を行うとともに、町内競技団体が主催する大会の運営経費の一部を助成します。

**【事業内容】**

- スポーツ合宿等宿泊費助成
- スポーツ大会等誘致運営費助成

**【新規】文化活動支援事業**  
100万円〈まなび交流課〉

自主的な生涯学習や文化活動を支援するため、町内外の文化団体等に対し、活動費の一部に対し補助金を交付します。

**【補助対象】**

- 町内の文化団体が主催する講演会、発表会  
展示会等
- 町内文化団体が町外で行う文化活動
- 町外の文化サークル等団体が葛巻町内に  
宿泊し行う文化活動 等

● **その他の主な事業**

● 高等学校教育振興事業	1,000万円	(こども教育課)
● 小学校・中学校管理経費	5,250万円	(こども教育課)
● 生涯学習推進事業費	270万円	(まなび交流課)
● 文化財保護事業	162万円	(まなび交流課)

**3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 36億6,889万円**

(1) 保健・医療の充実  
28億2,719万円

健康づくりの推進 9,803万円  
医療の確保 16億4,035万円  
医療保険制度の充実 10億8,881万円

(2) 福祉の充実  
8億4,170万円

地域福祉の充実 5,602万円  
高齢者福祉の充実 4億7,643万円  
障害者福祉の充実 3億 925万円

■ **主な事業と予算**

- 各種予防ワクチン接種費用への助成範囲を拡充します。
- 自殺対策行動計画に基づき、関係機関等と連携し、自殺予防対策を推進します。
- 医療機関等と連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業等を推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

## ●重点的に実施する事業

### 【継続】配食サービス事業

215万円〈健康福祉課〉

在宅生活を送っている、ひとり暮らしの高齢者等に対して、栄養バランスのとれた食事の提供を行い、健康で安心して暮らすことができるように支援を行います。

#### 【事業内容】

- 月4回、利用者の自宅に配食ボランティアが弁当をお届けします。

### 【継続】高齢者等外出支援事業

247万円〈健康福祉課〉

在宅生活を送っている75歳以上の高齢者、重度障がい者及び運転免許証の自主返納者等に対して、町内でタクシーを利用したときに、料金の一部を助成します。

#### 【事業内容】

- 「タクシー利用助成券」を1か月につき、4枚交付します。

### 【新規】高齢者福祉施設整備事業

3,381万円〈健康福祉課〉

高齢者が住み慣れた地域の中で、生き生きと安心して暮らし続けることができるよう、築34年が経過した老人福祉センターの改築を行い、高齢者の交流活動の拠点としての充実を図るとともに、地域包括ケアシステムのさらなる推進を図ります。



長寿を祝う会の様子

## ●その他の主な事業

● 生活習慣病予防事業	2,628万円	(健康福祉課)
● くずまキッズ予防接種費扶助事業	250万円	( // )
● ぬくもり助成事業	314万円	( // )
● 地域安心生活支援員	360万円	( // )
● 看護職員等養成修学資金貸付金	738万円	( // )

## 4 協創のまちづくりの推進 3,354万円

(1) 協創のまちづくり  
3,354万円

住民参画の推進

3,354万円

(2) 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会の推進

## ■ 主な事業と予算

- 様々な行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民のみなさんから参画していただき、町民と行政とが協働してまちづくりに取り組むことを推進します。

## II 誰もが住みたくなる“まち” 22億2,838万円

### 1 快適に暮らせる生活環境の創出 17億3,421万円

(1) 生活環境の整備  
9億1,881万円

住環境の整備	6,293万円
水道施設の整備	3億6,102万円
生活排水処理施設の整備	3億2,702万円
環境衛生の充実	1億6,784万円

(2) 交通・通信ネットワーク  
の整備 8億1,540万円

道路交通網の整備	7億2,971万円
生活交通対策の推進	2,282万円
地域情報化の推進	6,287万円

### ■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村及びバス事業者と連携しながら路線維持に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】 リサイクルセンター改修工事  
2,500万円〈農林環境エネルギー課〉

トラックスケールの更新や保管用倉庫の新築等改修工事を行い、資源物の分別作業の効率化を図り、更なるリサイクルの推進に努めます。

#### 【事業内容】

- トラックスケールの更新
- 敷地内一部舗装工事
- 保管用倉庫の新築



現在のリサイクルセンター

【継続】 清掃センター長寿命化修繕工事  
900万円〈農林環境エネルギー課〉

施設を長期的に使用していくため、清掃センターの設備を更新し長寿命化を図ります。

#### 【事業内容】

- ごみクレーンの整備
- ごみ分散管他耐火物の補修
- 助燃バーナーの交換
- 避雷針の交換
- バグフィルター差圧受信計の交換 他

【継続】 水洗化普及支援事業  
1,000万円〈建設水道課〉

公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るため、水洗化に係る工事に要する経費の一部を助成します。

#### 【補助金額】

- 一般世帯  
補助対象額の1/2、37万5千円を限度
- 高齢者世帯等  
補助対象額の2/3、50万円を限度

**【継続】 町道葛巻浦子内線改良事業**  
2億2,500万円〈建設水道課〉

町中心部と浦子内地区を結ぶ唯一の路線である大橋の老朽化が進んでいるため、大橋の架け替え及び道路拡幅を行います。

- 【事業内容】**  
○大橋上部工工事

**【継続】 町道茶屋場田子線道路改良事業**  
3,800万円〈建設水道課〉

大橋の架け替え工事に伴う未改良区間の改良工事と、通学路の安全性を高めるため、役場裏から田子地区までの歩道未整備区間の歩道設置を行います。

- 【事業内容】**  
○大橋施工区間の拡幅改良工事  
○歩道未整備区間の歩道詳細設計業務



令和元年度に開通した茶屋場田子線

**【新規】 除雪グレーダー更新事業**  
3,600万円〈建設水道課〉

町所有除雪機械の老朽化は除雪効率の低下や故障が頻発する原因にもなりうるため、老朽化の進んだ車両の更新を行い、冬期間の迅速な除雪に努めます。



除雪車出動式の様子

**【継続】 地域公共交通再編支援業務**  
300万円〈政策秘書課〉

人口減少や少子高齢化に伴う公共交通利用者の減少や、高齢者などが利用する上での公共交通が抱える課題に対応するため、住民の快適な暮らしを支える持続可能な公共交通体系を整備するための計画策定や公共交通再編に向けた実証事業を行います。

- 【事業内容】**  
○公共交通網形成計画の策定  
○公共交通再編に向けた実証事業



住民の暮らしを支える公共交通

**【新規】 県北バス葛巻線運行业務**  
330万円〈政策秘書課〉

県北バス葛巻線の減便に伴い、1日3便の運行を継続させるため、減便分（日中1便）の運行を町が県北バスに委託し、町民の公共交通手段を確保します。

- 【事業内容】**  
○県北バス葛巻線の運行业務（日中1便）

**【新規】 ラジオ受信点設備移転業務**  
250万円〈政策秘書課〉

ラジオ電波の受信不良に対応するため、プラトー付近に設置しているアンテナを移設し、ラジオ受信不良の解消に努めます。

- 【事業内容】**  
○ラジオ受信点設備の移設

## ●その他の主な事業

● 廃棄物処理事業	5,993万円	(農林環境エネルギー課)
● し尿処理事業	4,288万円	( // )
● ごみ焼却場管理経費	2,870万円	( // )
● 道路長寿命化修繕工事	3,000万円	(建設水道課)
● 町営住宅長寿命化修繕工事	4,480万円	( // )
● 町整備型浄化槽整備事業	4,200万円	( // )
● バス路線運行拡大支援対策事業	1,400万円	(政策秘書課)

## 2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり 4,869万円

(1) 自然環境の保全と土地の利活用  
4,067万円

土地の利活用等 4,067万円

(2) 再生可能エネルギーの推進  
802万円

新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発  
802万円

### ■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組めます。
- 新エネルギー等の導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

【継続】 エコ・エネ総合対策事業  
150万円 (農林環境エネルギー課)

地域循環型の構築と町内経済の活性化を図るため、新エネルギー・省エネルギー施設の整備及び、環境改善・リサイクル活動に要する経費に対し補助金を交付します。

#### 【事業内容】

- 新エネルギー等を導入する際の経費助成
- エコ活動推進の取り組みをする際の経費助成
- 資源回収の実施に伴う経費の助成



事業を活用して導入された薪ストーブ

## ● 主な事業

● 中山間地域総合整備事業	1,714万円	(建設水道課)
● 木質バイオマス発電施設支障通信線路移転工事	290万円	(農林環境エネルギー課)

### 3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 4億4,548万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 4億3,743万円

防災対策、消防・救急体制の充実 4億3,743万円

(2) 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 805万円

交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 805万円

#### ■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止及び応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進に向け、町民の意識啓発活動に取り組みます。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【継続】 消防用ホース整備事業

430万円〈総務課〉

消防団の各分団や消火栓などで使用する消防用ホースを購入し、非常時の防災力強化を図ります。

##### 【事業内容】

○各分団配備用消防ホース 135本



消防操法競技会の様子

##### 【新規】 第18分団屯所水道配管工事

85万円〈総務課〉

現在自家水道となってる消防団第18分団の屯所の水道について、時季によって水量の確保が難しくなるなど使用に不便を生じていることから、町水道を敷設する工事を行います。

##### 【新規】 防災行政無線デジタル化工事

9,500万円〈総務課〉

防災行政無線について、アナログ方式の無線機器が令和4年12月1日以降使用できなくなることから、デジタル方式の無線機器に更新します。

通常は主に道路の維持管理や除雪業務で使用し、災害発生時には災害対策本部と現場との通信手段として使用します。携帯電話などが使用不可となった場合でも、自営のネットワークにより他の設備の影響を受けることなく使用することが可能となります。

#### ● その他の主な事業

- 盛岡地区広域消防組合負担金 ..... 2億8,568万円 (総務課)
- 災害対策経費 ..... 885万円 ( // )
- 交通安全対策経費 ..... 197万円 ( // )
- 防犯活動経費 ..... 532万円 ( // )

### III 地域資源を生かす“しごと” 9億8,162万円

#### 1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 8億6,304万円

(1) 農業の振興 7億6,511万円	畜産振興	4億4,417万円
	農業振興	1億 346万円
	農業施設等の整備	2億1,748万円
(2) 林業の振興 9,025万円	林業振興	9,025万円
(3) 農林産物加工の振興 768万円	加工施設の充実	768万円

#### ■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛及び肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。
- 町内外の若者等に町の基幹産業の情報を幅広く提供し、将来の担い手の確保を図ります。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】山ぶどう魅力発信事業  
225万円〈農林環境エネルギー課〉

「山ぶどう魅力発信事業実行委員会（仮）」の活動経費を助成し、当町の主要な特産品であるくずまきワインのさらなるPRと、特用林産物としての山ぶどうの振興を図ります。

【事業内容】  
○収穫祭及び山ぶどうシンポジウムの開催

【新規】全日本ホルスタイン共進会出場助成等  
160万円〈農林環境エネルギー課〉

宮崎県都城市で開催される第15回全日本ホルスタイン共進会は、「酪農の町くずまき」を全国にPRする絶好の機会であることから、上位入賞を目指して出品対策を強化します。

【事業内容】  
○出品対策委員会活動助成  
○出品助成

【新規】草地更新支援事業  
300万円〈農林環境エネルギー課〉

飼料自給率の向上と、良質の牧草生産による高品質な生乳生産を図るため、草地更新に要する資材等の経費の一部を助成します。

【対象経費】  
牧草種子、土壌改良資材、化成肥料  
【補助額】  
対象経費の1/2以内の額  
(上限100千円/ha)

【継続】草地畜産基盤整備事業  
9,412万円〈農林環境エネルギー課〉

飼料生産の基盤整備を行い、生産性の高い飼料基盤を確保し飼料自給率の向上を図るとともに、畜産経営の規模拡大のため、畜舎などの整備を行います。

【事業内容】  
○飼料畑造成改良  
○飼料調製貯蔵施設整備  
○家畜保護施設整備

【新規】畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

1,425万円〈農林環境エネルギー課〉

(一社)葛巻町畜産開発公社が行う、コントラクター事業(デントコーン収穫)に必要な、自走式ハーベスターの導入費用に対する助成を行います。

【新規】基幹産業担い手確保支援事業

50万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

葛巻高等学校の生徒や、酪農や畜産を専門的に学ぶ農業高校、農業大学校の学生等に、地域の仕事の情報提供等を行い、町内基幹産業の担い手確保と、若者の移住定住を促進します。

【業務内容】

- 葛巻高校町内企業ガイダンス
- 牛とミルクのお仕事見学会



ミルクハウスを見学する様子

【新規】道の駅レストラン建設事業

1億4,846万円〈農林環境エネルギー課〉

新たに町の農産物や特産品を活用した料理を提供するレストランを整備し、道の駅くずまき高原の利便性向上や、利用者の増加に伴う交流人口の拡大、町の特産品等の振興を図ります。

【継続】農道寺田線整備事業

3,400万円〈建設水道課〉

農業振興の向上と、地域の農業効率を図るため、農業機械の大型化に対応する農道改良舗装工事を行います。

【事業内容】

- 農道改良工事 (延長=500m)

【新規】狩猟者確保対策事業

18万円〈農林環境エネルギー課〉

有害鳥獣の捕獲の担い手である狩猟者を確保するため、捕獲に必要な狩猟免許等を新たに取得した方に対し、取得費用の一部を助成します。

【補助対象者】

- 町内に住所を有し、免許取得後、猟友会に入会し鳥獣被害対策実施隊員として活動できる方

【補助金額】

- 狩猟免許取得に要した費用の1/2の額

【新規】林業労働安全装備品導入費助成事業

159万円〈農林環境エネルギー課〉

林業における労働災害を未然に防ぎ、林業従事者が安全に作業を行えるよう、チェーンソー防護衣やブーツ、ヘルメットなどの安全装備品の購入に要する経費に対し、助成を行います。

【補助金額】

- 林業労働安全装備品の購入経費の1/2の額

【継続】森林現況調査等事業

1,072万円〈農林環境エネルギー課〉

平成31年4月1日から施行された新たな森林経営管理制度に伴い、所有者が管理できず町へ経営管理を委託希望する森林を対象に、植生している樹種や林齢などを調べるほか、作業道の開設状況などの現地調査を行います。

## ● その他の主な事業

- いわて地域農業マスタープラン実践支援事業 …… 2,300万円(農林環境エネルギー課)
- プラトー空調設備整備工事 …… 200万円( // )
- ミルクハウスくずまき洗瓶機更新事業 …… 1,400万円( // )



## 2 交流・連携の強化による地域産業の育成 1億499万円

(1) 商工業の振興

4,960万円

商工業の振興

4,960万円

(2) 観光の振興

2,659万円

観光の振興

2,659万円

(3) 交流連携の推進

2,880万円

交流連携の推進

2,880万円

### ■ 主な事業と予算

- 商工業振興では、中心市街地の活性化を図るとともに、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 交流連携の推進では、移住・定住者希望者へ向けた体験ツアーの実施や住宅取得支援を行うことで、移住・定住者の確保に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【継続】くずまき型DMO事業

1,263万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

くずまき型DMOの推進を目指し、昨年度までの取組みを更に発展させ、「観光プロモーション」や「特産品開発」の具体的な事業化を推進するとともに、公民が連携して「歩きまわりたくなるまちなか」の創出に向けた取組みを推進します。

#### 【事業内容】

- 観光プロモーション・特産品検討事業
- まちなかエリア活性化事業
- エコなまちなかライフ推進事業
- 若者・高校生検討事業



自転車を活用したプロモーション

#### 【継続】商店等設備導入支援事業

500万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

住民の安全・安心及び町内経済の活性化を図ることを目的に、商店等の設備更新や店舗リフォームに要する経費の一部を助成し、町民の日常生活に必要な地域の商店や飲食店等の持続的な経営を支援します。

#### 【助成内容】

町内において、小売業、飲食サービス業、生活関連サービス業を10年以上営む個人事業主や資本金1,000万円以下の法人が、10万円以上の設備導入または30万円以上の店舗リフォームを行う場合に、上限額50万円とし対象経費の2/3を助成



エコハウスワークショップの様子

**【継続】 個人商店等誘客環境改善事業**  
200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内商店等の売場、店舗及びその敷地内への顧客用トイレの設置を支援することにより、顧客サービス環境の改善を推進し、個店への誘客とまちなか等の賑わい創出を図ります。

**【助成内容】**

- 売場への設置  
150万円を上限に、トイレ設置にかかる費用の総額を補助
- 店舗及びその敷地内への設置  
50万円を上限に、トイレ設置にかかる費用の2分の1を補助

**【継続】 定住対策住宅取得支援事業**  
600万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民が町に定住するために住宅を取得する場合に、経費の一部を最大100万円助成します。

**【助成内容】**

基本額：対象経費の1/2、限度額100万円  
(中古住宅購入の場合は限度額50万円)

**【継続】 子育て世代移住者住宅取得支援事業**  
400万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町外に住む子育て世帯が町内に移住するために住宅を取得する場合に、経費の一部を最大400万円助成します。

**【助成内容】**

基本額：対象経費の1/2、限度額200万円  
(中古住宅購入の場合は限度額50万円)  
若年夫婦加算：50万円(合計年齢60歳未満)  
子の加算：1人につき50万円(最大150万円)

**【継続】 若者定住推進家賃助成事業**  
120万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内の民間アパートなどの賃貸住宅に入居する若者を対象に、家賃の一部を助成し、若者が暮らしやすい町としての魅力を高め、若者世代の定住を促進します。

**【助成内容】**

月額家賃から3万円を差し引いた額の1/2をくずまき商品券で助成(月額上限1万円)



令和元年度に完成した茶屋場定住住宅

**【新規】 地域人材ネット外部専門家招へい事業**  
500万円〈政策秘書課〉

基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現や、交流・連携の強化による地域産業の育成の加速化を推進することにより、人口減少対策に努めます。

**【事業内容】**

- 再生可能エネルギー事業の模範的活用
- 地域資源(農畜産物)を活かした新商品開発
- 「くずまきワイン」ブランド力の強化

**● その他の主な事業**

● 快適な住まいづくり応援事業	450万円(いらっしやい葛巻推進課)
● 中小企業振興資金利子補給	137万円( // )
● 定住促進奨励金	200万円( // )

### 3 地域産業を生かした起業支援と雇用の確保 1,359万円

(1) 起業・継業支援  
152万円

起業・継業の支援

152万円

(2) 雇用機会の確保  
1,207万円

雇用機会の確保

1,207万円

#### ■ 主な事業と予算

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者育成等、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町内の商工業者の継業（事業承継）を支援し、町内商工業の振興と地域経済の活性化を図ります。
- 「くずまき雇用サポートセンター」を新たに設置し、事業主等に雇用の支援を行うとともに、町民の就労機会の確保と拡大及び就労者の地域への定着を図ります。

#### ● 重点的に実施する事業

【継続】くずまき型持続可能な産業づくり支援事業  
100万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内の商工業における経営品質の向上や生産技術の継承、起業等の取り組みを支援することにより、持続可能な産業構造及び経営体の構築を図り、産業振興による地域経済の活性化及び雇用の創出、町民所得の向上を図ります。

##### 【事業内容】

- ものづくり・人材育成事業
- 経営品質向上事業
- 後継者育成事業
- 起業家支援事業
- 電子化推進事業
- 新分野開拓・連携支援事業

【継続】継業支援事業  
50万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内の商工業者が継業（事業承継）に取り組む場合の経費の一部を助成し、町内商工業の事業の継続及び発展による地域経済の活性化を図ります。

##### 【事業内容】

- 経営診断等を専門家へ依頼する際の経費
- 後継者の募集、交渉等に要する経費
- 事業所登記に要する経費

【継続】雇用促進事業補助金  
1,200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内事業者が新たに町民を雇用した際に補助金を交付し、町内における雇用機会の拡大及び所得の増加を推進します。

##### 【事業内容】

- 39歳以下（3年）  
給料月額1/3 上限なし
- 60歳以上（2年）  
給料月額1/4 上限1.5万円/月
- ※（ ）内は補助対象期間



## IV その他の行政業務

38億7,017万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済等で、総合計画の体系に分類できない業務  
38億7,017万円

公債費	6億8,325万円
総務、企画、統計	29億8,977万円
税務、戸籍	7,246万円
議会、選挙、監査	7,193万円
その他	5,276万円

### ●重点的に実施する事業

#### 【新規】町村合併65周年記念事業

600万円〈政策秘書課〉

町村合併65周年の節目を町民と一体となって祝うことで、まちづくりに対する機運を醸成し、更なる町の発展を図るとともに、「山村のモデル」としての取組を県内外に情報発信し、交流人口及び定住人口の増加・拡大を図ります。

#### 【事業内容】

- 葛巻町65周年記念式典の開催
- 記念イベントの開催助成



町村合併60周年記念式典の様子

#### 【新規】町勢要覧作成業務

330万円〈総務課〉

町勢要覧は、町の人口や財政、産業、資源などの概要について紹介するために、分かりやすくまとめたパンフレット型の資料です。

今年度は、最新の情報を取りまとめて、新たな町勢要覧を作成します。

#### 【事業内容】

- 町勢要覧の作成  
本編 3,000部  
ダイジェスト版 4,000部

#### 【新規】国土強靱化計画策定業務

300万円〈政策秘書課〉

昨今、大規模自然災害等が頻発し、激甚化するケースが増加していることから、大規模自然災害に備え、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を、まちづくり政策や産業施策を含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進します。

#### 【事業内容】

- 地域の現状調査や脆弱性の分析・評価
- 国土強靱化計画の策定

### 【新型コロナウイルスなどの感染症予防について】

- 1 咳エチケットを守り、周りの人に移さないためにマスクを着用しましょう！
- 2 家に帰ったらうがいをし、しっかり手洗いをしましょう！
- 3 こまめな換気や手のよく触れる場所を消毒しましょう！
- 4 感染が疑われる症状（発熱やだるさ等）がある場合は、役場か保健所に電話で相談しましょう！

葛巻町役場健康福祉課健康係 0195-66-2111（内線151、153、154）



# 令和元年度から令和2年度に予算を繰り越して実施する事業

## ●主な繰越事業

**酪農ヘルパー住宅整備事業**  
3,738万円〈農林環境エネルギー課〉

町の基幹産業である酪農を支えるヘルパーの安定確保に向けて、酪農ヘルパー専用住宅を整備します。

**【事業内容】**

- 木造平家建て長屋5世帯

**町道葛巻浦子内線改良事業**  
1億4,610万円〈建設水道課〉

老朽化した大橋の架け替え工事を行います。下部工事は出水期を避けた工程となるため、事業を繰越し実施します。

**【事業内容】**

- 大橋下部工工事

**学校情報通信ネットワーク環境整備事業**  
5,505万円〈こども教育課〉

国が進める「GIGA（ギガ）スクール構想」の実現に向けて、校舎内に高速インターネット無線LANを整備します。

**【事業内容】**

- 校内LANネットワーク整備

※GIGAスクール構想

最新テクノロジーを活用した社会に生きる子どもたちの未来を見据え、児童生徒の1人1台学習用端末と、高速大容量の通信ネットワークを整備する構想。



タブレットを使った授業の様子

## ●繰越事業一覧

事業名	事業費	完了見込
役場新庁舎建設事業	15億 37万円	R3.7月
酪農ヘルパー住宅整備事業	3,738万円	R2.12月
畜産労働力負担軽減対策事業	127万円	R2.6月
野生生物侵入防止緊急支援事業	115万円	R2.5月
草地畜産基盤整備事業	2億2,013万円	R2.12月
農道寺田線整備事業	60万円	R2.6月
特用林産施設等体制整備事業	75万円	R2.6月
大橋下部工工事	1億4,610万円	R3.3月
道路改良工事	7,490万円	R3.3月
学校情報通信ネットワーク環境整備事業	5,505万円	R2.12月
台風19号災害に係る災害復旧工事	2,680万円	R2.8月
繰越事業費 計	20億6,450万円	

# 平成30年度 まちの 決算 の状況

## ■歳入歳出決算額

### ○一般会計・特別会計の状況

平成30年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額84億8,359万円に対し、歳出総額76億4,598万円で、歳入歳出差引額は8億3,761万円（実質収支等は3億9,346万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は9億8,085万円（10.4%）の減、歳出総額は10億9,795万円（12.6%）の減となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	79億6,452万円	72億2,120万円	64億2,633万円	7億9,487万円
特別会計	13億9,040万円	12億6,239万円	12億1,965万円	4,274万円
国民健康保険事業	10億9,399万円	9億7,515万円	9億4,618万円	2,897万円
農業集落排水事業	2億1,514万円	2億925万円	1億9,995万円	930万円
後期高齢者医療事業	8,127万円	7,799万円	7,352万円	447万円
合計	93億5,492万円	84億8,359万円	76億4,598万円	8億3,761万円

### ○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		平成30年度決算額 (構成比率)	歳出項目		平成30年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	4億7,722万円 (6.6%)	義務的経費	人件費	7億9,632万円 (12.4%)
	諸収入	2億1,125万円 (2.9%)		公債費	7億484万円 (11.0%)
	分担金及び負担金	4,197万円 (0.6%)		扶助費	5億4,199万円 (8.4%)
	繰入金	4億2,490万円 (5.9%)	投資的経費	普通建設事業費 (補助)	7億1,164万円 (11.1%)
	その他の自主財源	7億2,056万円 (10.0%)		普通建設事業費 (単独)	5億1,270万円 (8.0%)
依存財源	地方交付税	32億2,717万円 (44.7%)	災害復旧事業	1億9,238万円 (3.0%)	
	町債	8億5,444万円 (11.8%)	その他の経費	補助費等	9億4,701万円 (14.8%)
	国庫支出金	6億5,075万円 (9.0%)		物件費	8億5,001万円 (13.2%)
	県支出金	4億410万円 (5.6%)		繰出金	4億9,096万円 (7.6%)
	地方譲与税	7,968万円 (1.1%)		その他の経費	6億7,848万円 (10.5%)
	その他の依存財源	1億2,916万円 (1.8%)		合計	64億2,633万円 (100.0%)
合計	72億2,120万円 (100.0%)				

## ○企業会計

病院事業会計は総収益 12 億 5,290 万円に対し、総費用が 12 億 0,143 万円となり、純利益 5,147 万円を計上しました。

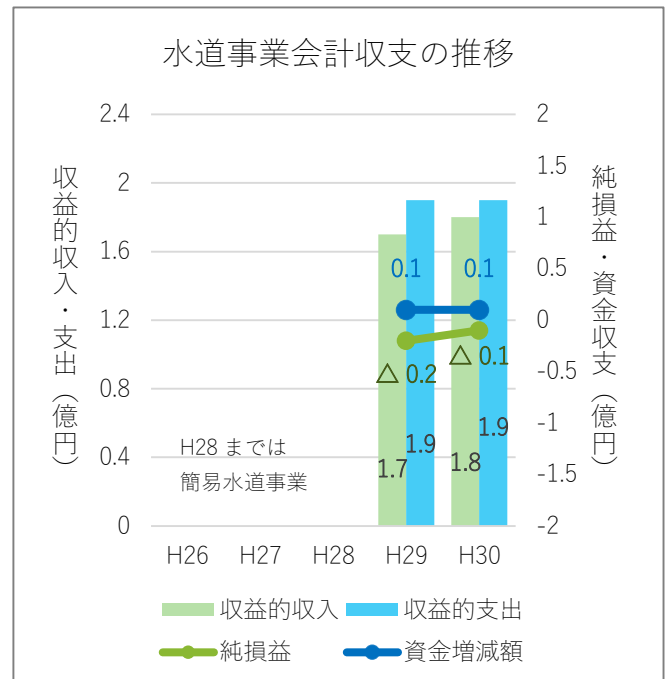
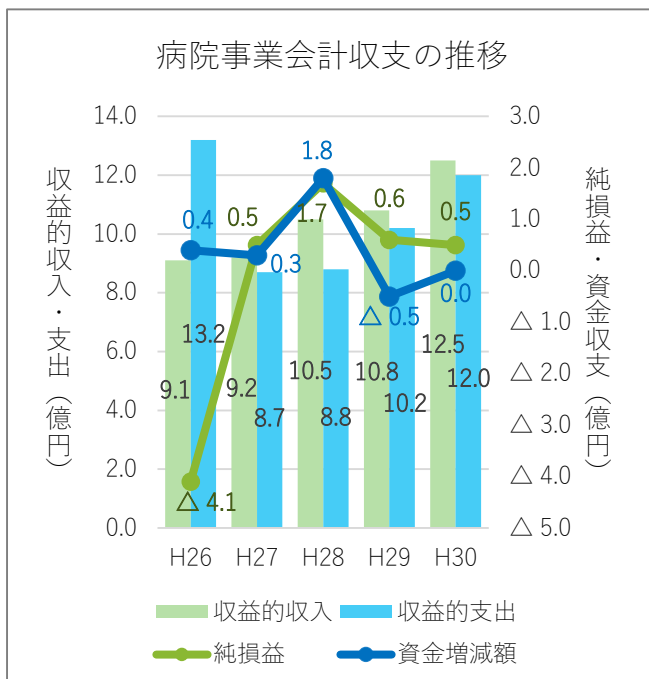
水道事業会計は総収益 1 億 7,968 万円に対し、総費用が 1 億 8,816 万円となり、純損失 848 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
	金額	金額	金額	金額
収益的収支	医業収益	5億8,967万円	営業収益	1億2,173万円
	医業外収益	2億3,461万円	営業外収益	5,791万円
	医業費用	10億3,575万円	営業費用	1億7,098万円
	医業外費用	1,572万円	営業外費用	1,718万円
	特別利益	4億2,862万円	特別利益	4万円
	特別損失	1億4,996万円	特別損失	—
	純損益	5,147万円	純損益	△848万円
資本的収支	資本的収入	1,071万円	資本的収入	6億4,132万円
	資本的支出	1,887万円	資本的支出	6億4,133万円
	差引収支	△816万円	差引収支	△1万円
資金収支	資金増減額	△441万円	資金増減額	1,168万円

※ 「収益的収支」は、事業年度の経営活動に伴って発生する収益と費用を経理したもので、「資本的収支」は、建物や施設の建設などの費用を経理したものです。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

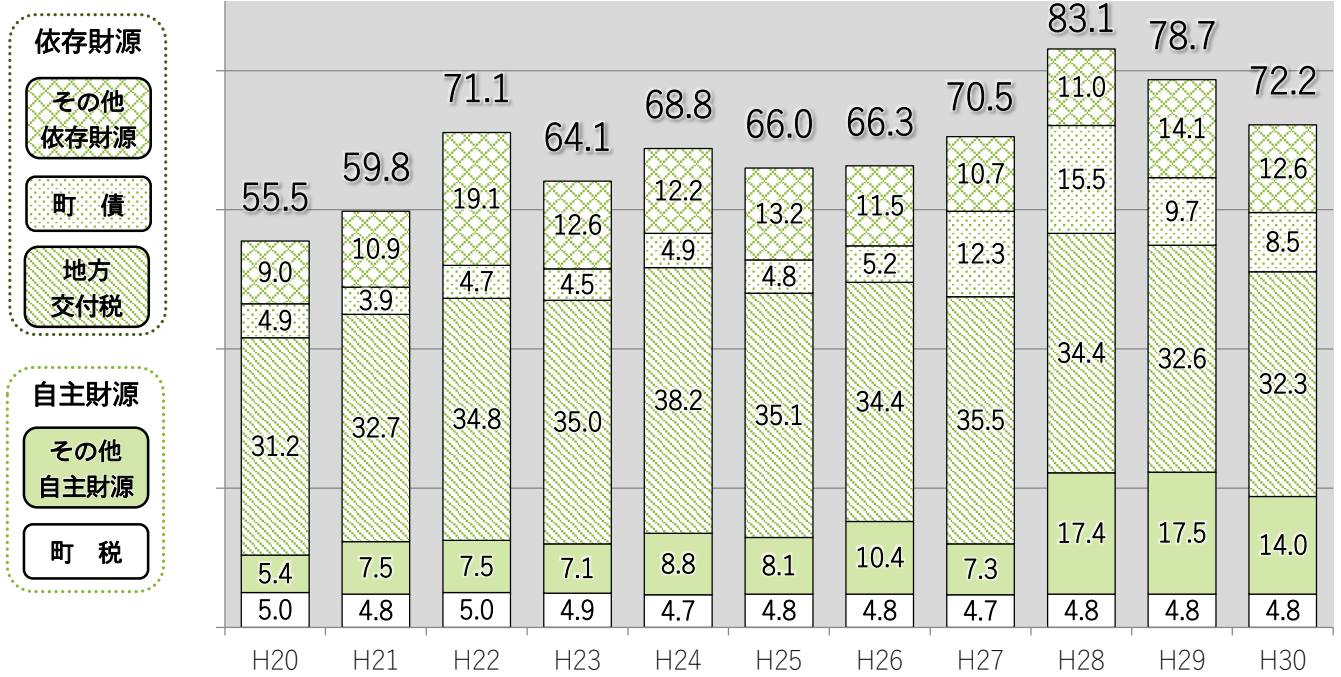


# ■一般会計歳入歳出決算額の推移

平成 30 年度の町の一般会計決算額は、歳入が 72 億 2,120 万円（前年度比 6 億 5,085 万円、8.3%の減）、歳出が 64 億 2,633 万円（前年度比 8 億 543 万円、11.1%の減）となり、歳入歳出差引額は 7 億 9,487 万円（前年度比 1 億 5,458 万円、24.1%の増）の黒字となっています。

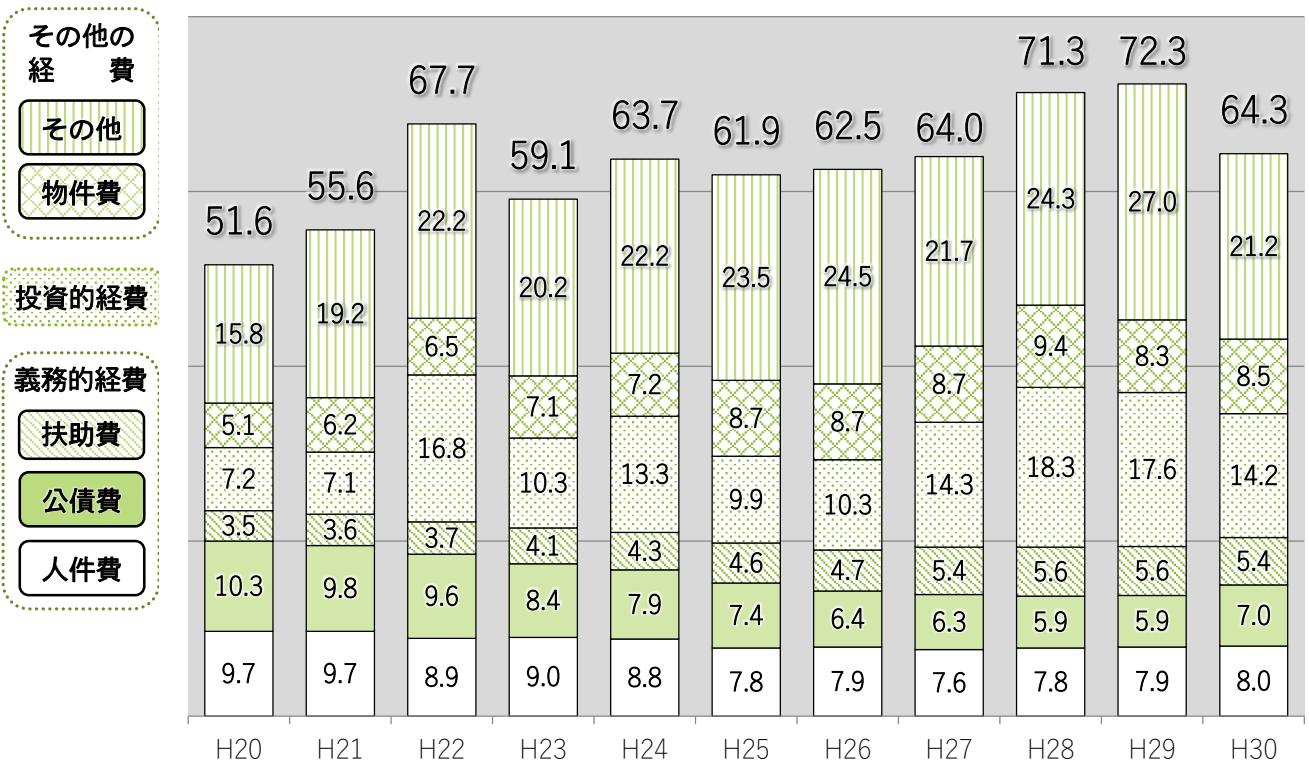
## ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



## ●歳出決算額の推移

（単位：億円）

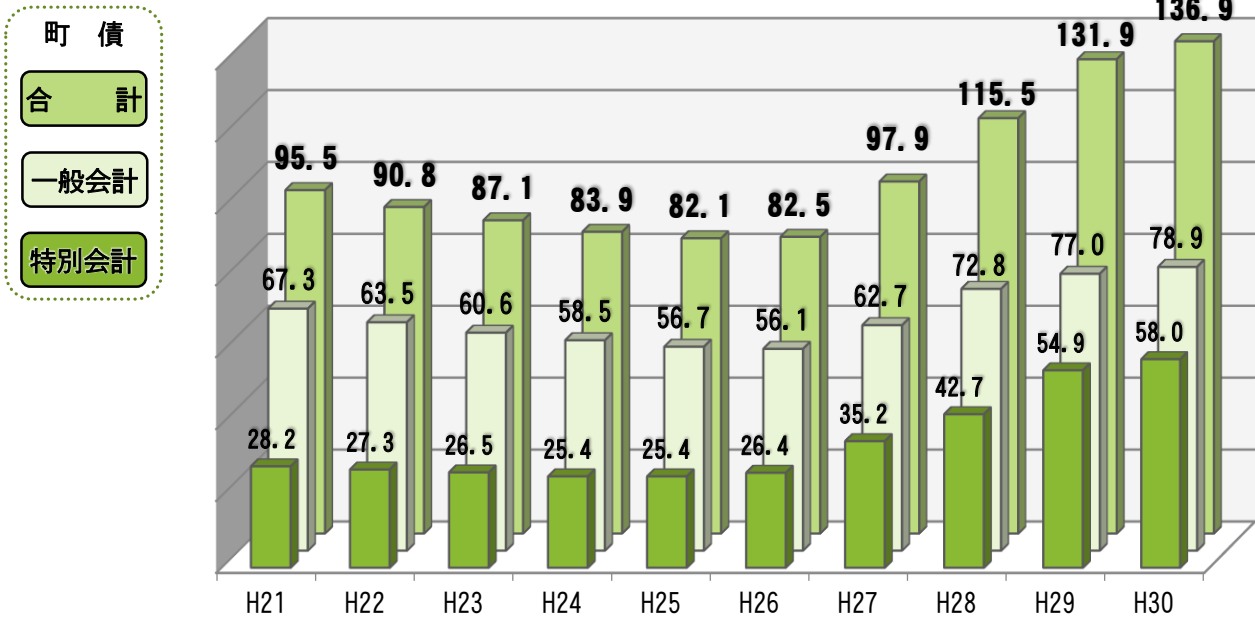




## 町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。一般会計では、グリーンテージ改修事業や学校施設環境改善事業などにより、特別会計では葛巻病院改築事業や江刈地区水道整備事業などにより増加し、借入残高は平成 29 年度に比べ 4 億 9,993 万円 (3.8%) の増となっています。

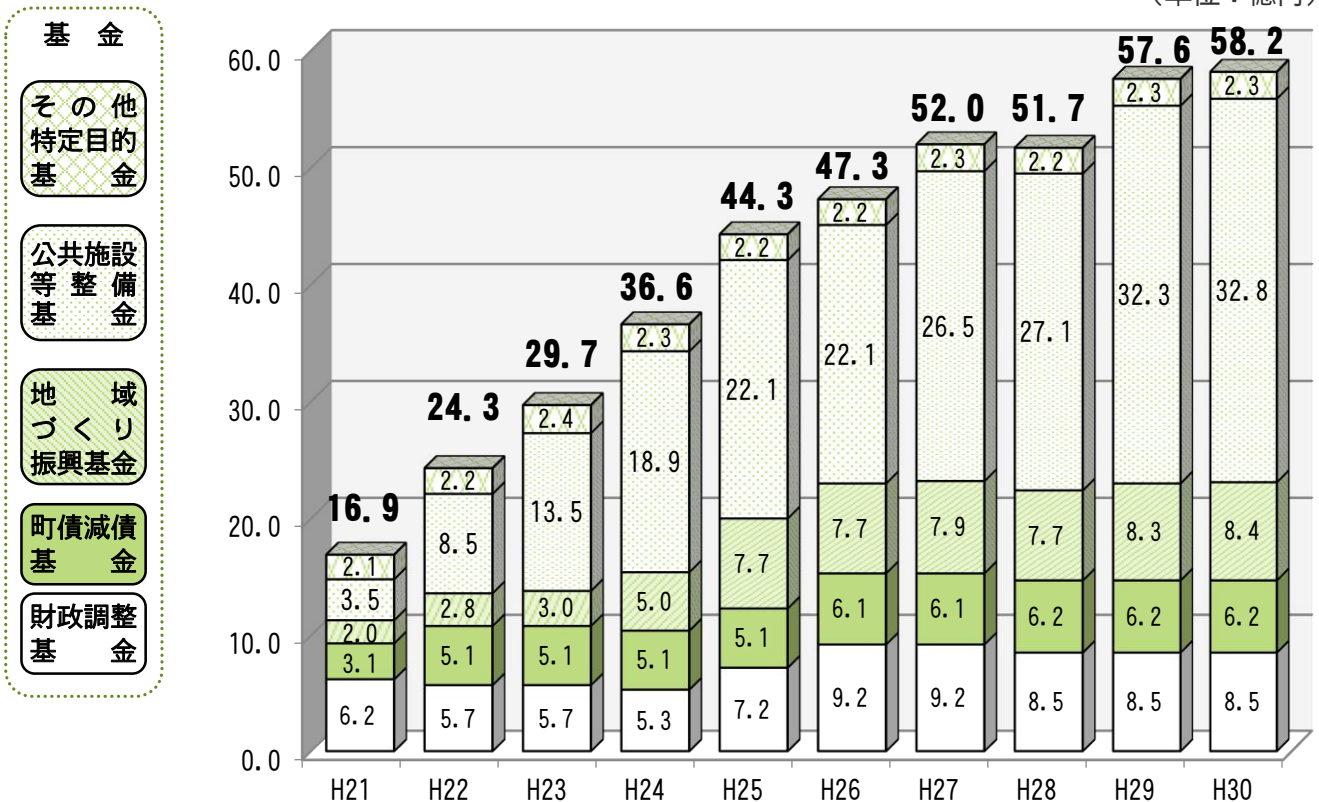
(単位：億円)



## 基金残高の推移

町の貯金である基金の平成 30 年度末の残高総額は 58 億 1,741 万円で、前年度に比較して 6,020 万円 (1.0%) の増となりました。積み立てた基金は、役場新庁舎建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。

(単位：億円)



# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

項目	平成 30 年度 決算 A	平成 29 年度 決算 B	差 引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	6.3 %	5.4 %	0.9 p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	16.2 %	-	16.2 p t	350.0 %	
財政力指数	0.16	0.15	0.01 p t		
経常収支比率	86.9 %	86.0 %	0.9 p t		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の平成 30 年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

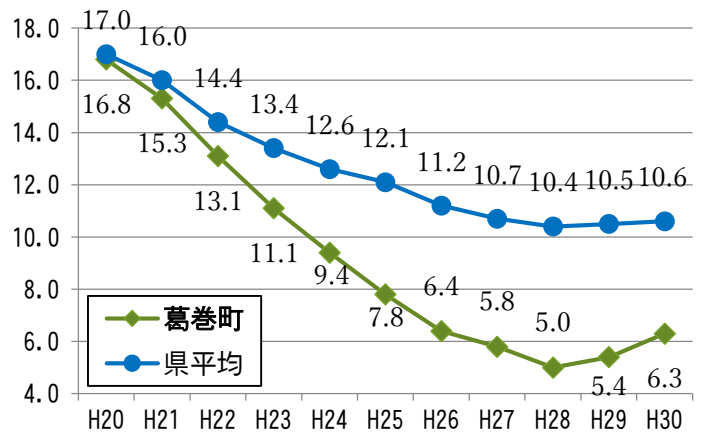
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の平成 30 年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債比率の早期健全化基準は 25% ですが、18% を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

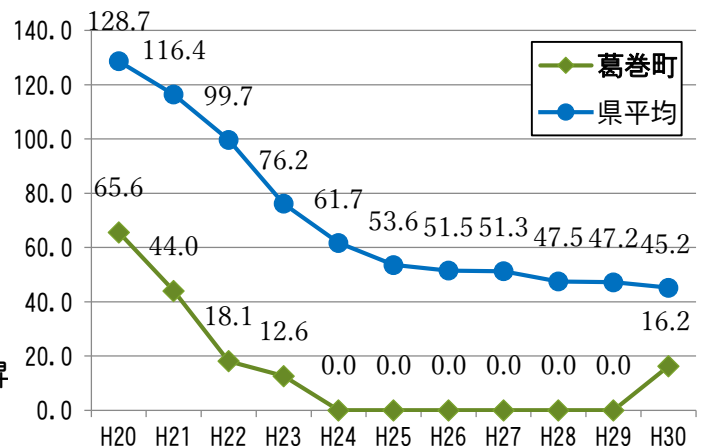
町の平成 30 年度における実質公債比率は、6.3% で、前年度と比較して 0.9 ポイント上昇しています。



### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の平成 30 年度における将来負担比率は、16.2% で、前年度と比較して 16.2 ポイント上昇しています。



## ■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の平成30年度の財政力指数は0.16で、前年度と比較して0.01ポイント上昇しました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

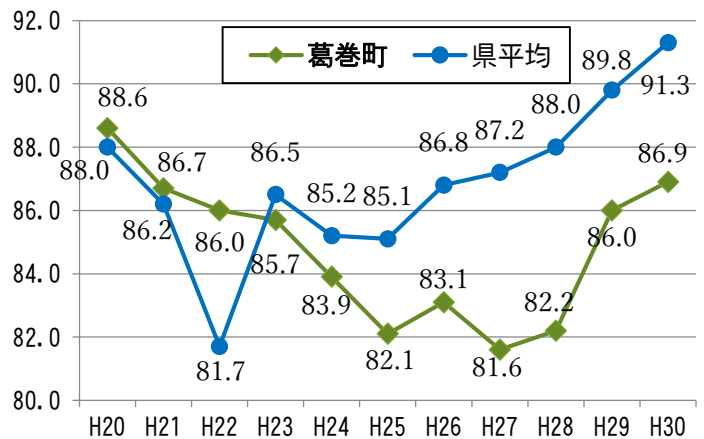
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

## ■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

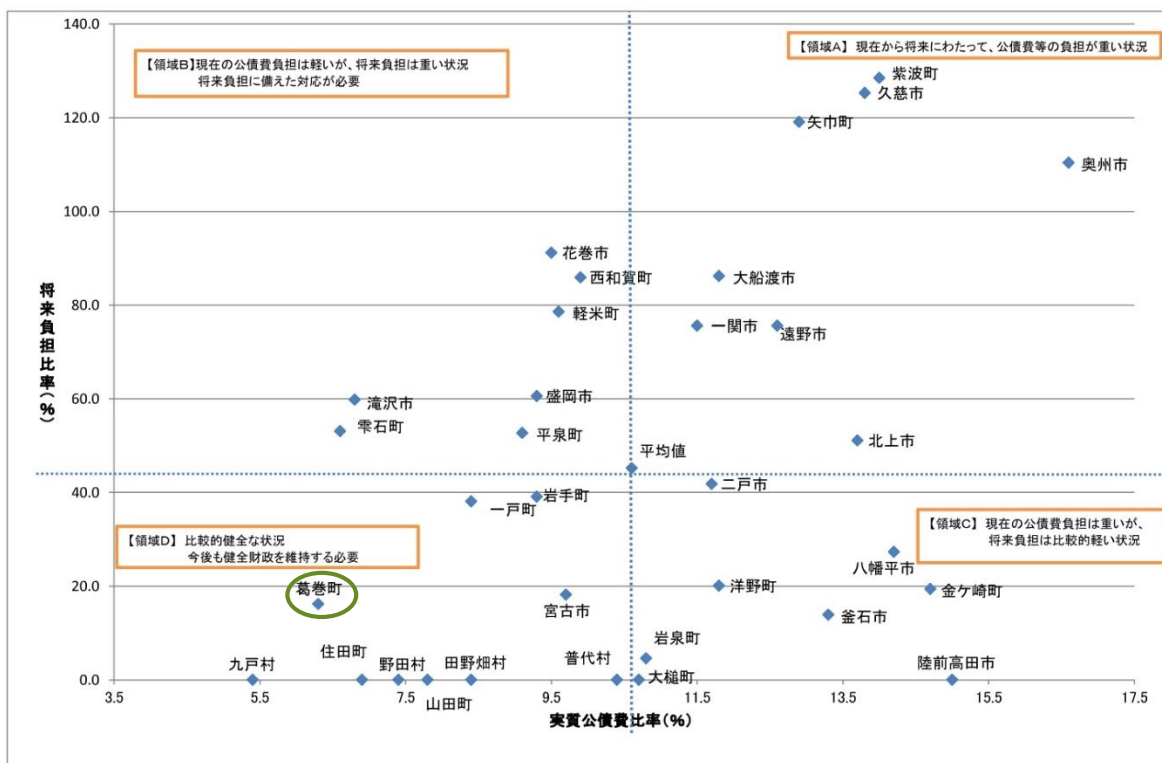
町の平成30年度の経常収支比率は86.9%で、前年度と比較して0.9ポイント上昇しています。



## ●平成30年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、平成30年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（平成30年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	6,764	6,691	73	73
盛岡北部行政事務組合	7,218	7,048	170	170
岩手県市町村総合事務組合	11,332	11,251	81	81
岩手県自治会館管理組合	158	154	4	4
岩手県後期高齢者医療広域連合	161,084	157,167	3,917	3,917

（※財政状況資料集より）

形式収支・・・歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支・・・形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社)葛巻町畜産開発公社	63	456	189	-	206
(株)グリーンテージくずまき	3	37	20	-	-
(株)岩手くずまきワイン	2	268	40	-	60
葛巻町森林組合	9	120	27	-	100

（※財政状況資料集より）

経常損益・・・営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償・・・第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

# 平成30年度 まちの財務書類

## ■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④キャッシュ・フロー計算書」を作成しています。

新たな資産の取得により「有形固定資産」が増加した一方、財源として借り入れた「地方債」も増加している状況です。また、平成30年度から翌年度に繰り越した事業に充てるための財源（一般財源）として、「現金預金」も増加しています。

## ■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産（土地、建物、基金など）がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源（負債、純資産）で賄ってきたのかを表す財務書類です。

### ●貸借対照表 (BS)

(単位：千円)

[資産の部]	平成30年度	平成29年度	差引増減	[負債の部]	平成30年度	平成29年度	差引増減
固定資産	22,036,572	21,852,341	184,231	固定負債	8,313,338	8,225,333	88,005
有形・無形固定資産	15,305,262	15,207,653	97,609	(1)地方債	7,323,093	7,147,326	175,767
(1)土地	1,398,988	1,393,151	5,837	(2)退職手当引当金	975,169	1,047,206	△ 72,037
(2)立木竹	106,167	98,896	7,271	(3)その他	15,076	30,801	△ 15,725
(3)建物	5,665,988	5,517,430	148,558	流動負債	657,498	634,305	23,193
(4)工作物	514,970	522,455	△ 7,485	(1)1年内償還予定地方債	563,966	554,294	9,672
(5)インフラ資産	7,430,090	7,508,571	△ 78,481	(2)未払金	7,863	-	7,863
(6)物品	153,041	153,812	△ 771	(3)賞与等引当金	47,637	46,311	1,326
(7)その他	36,018	13,338	22,680	(4)預り金	38,032	33,700	4,332
出資金・貸付金等	6,731,310	6,644,688	86,622	<b>負債合計</b>	<b>8,970,836</b>	<b>8,859,638</b>	<b>111,198</b>
(1)投資・出資・貸付金等	1,665,858	1,638,627	27,231	<b>[純資産の部]</b>	<b>平成30年度</b>	<b>平成29年度</b>	<b>差引増減</b>
(2)基金	5,065,452	5,006,061	59,391	資産合計－負債合計	14,756,302	14,524,516	231,786
①減債基金	620,827	620,821	6	=純資産合計			
②特定目的基金	4,444,625	4,385,240	59,385				
流動資産	1,690,566	1,531,813	158,753				
(1)現金預金	832,895	673,976	158,919				
(2)未収金	4,718	4,893	△ 175				
(3)財政調整基金	852,953	852,944	9				
<b>資産合計</b>	<b>23,727,138</b>	<b>23,384,154</b>	<b>342,984</b>	<b>純資産合計</b>	<b>14,756,302</b>	<b>14,524,516</b>	<b>231,786</b>

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり  
換算すると、次の  
通りになります



資産 387万円 (H29：372万円)	負債 146万円 (H29：141万円)
	純資産 241万円 (H29：231万円)

※葛巻町の人口 6,135人 (H31.3.31現在)

## ■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	51.1億円	収益	3.2億円
<b>人にかかるコスト</b>		<b>日常的に受ける収益</b>	
給与や退職引当、共済掛金等	8.5億円	使用料、手数料	0.5億円
<b>物にかかるコスト</b>		その他経常収益	2.7億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	20.0億円		
<b>移転支出コスト</b>		<b>臨時的に受ける収益</b>	
社会保障給付費や補助金など	20.0億円	引当金の取崩しなど	－ 億円
<b>その他のコスト</b>			
支払利息、火災保険料等	0.5億円	<b>純行政コスト</b>	<b>47.9億円</b>
臨時に係るコスト	2.1億円	不足する47.9億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

## ■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	145.3億円
純経常行政コスト	▲47.9億円
税収等	39.7億円
補助金等受入	10.5億円
その他	－ 億円
期末純資産残高	147.6億円

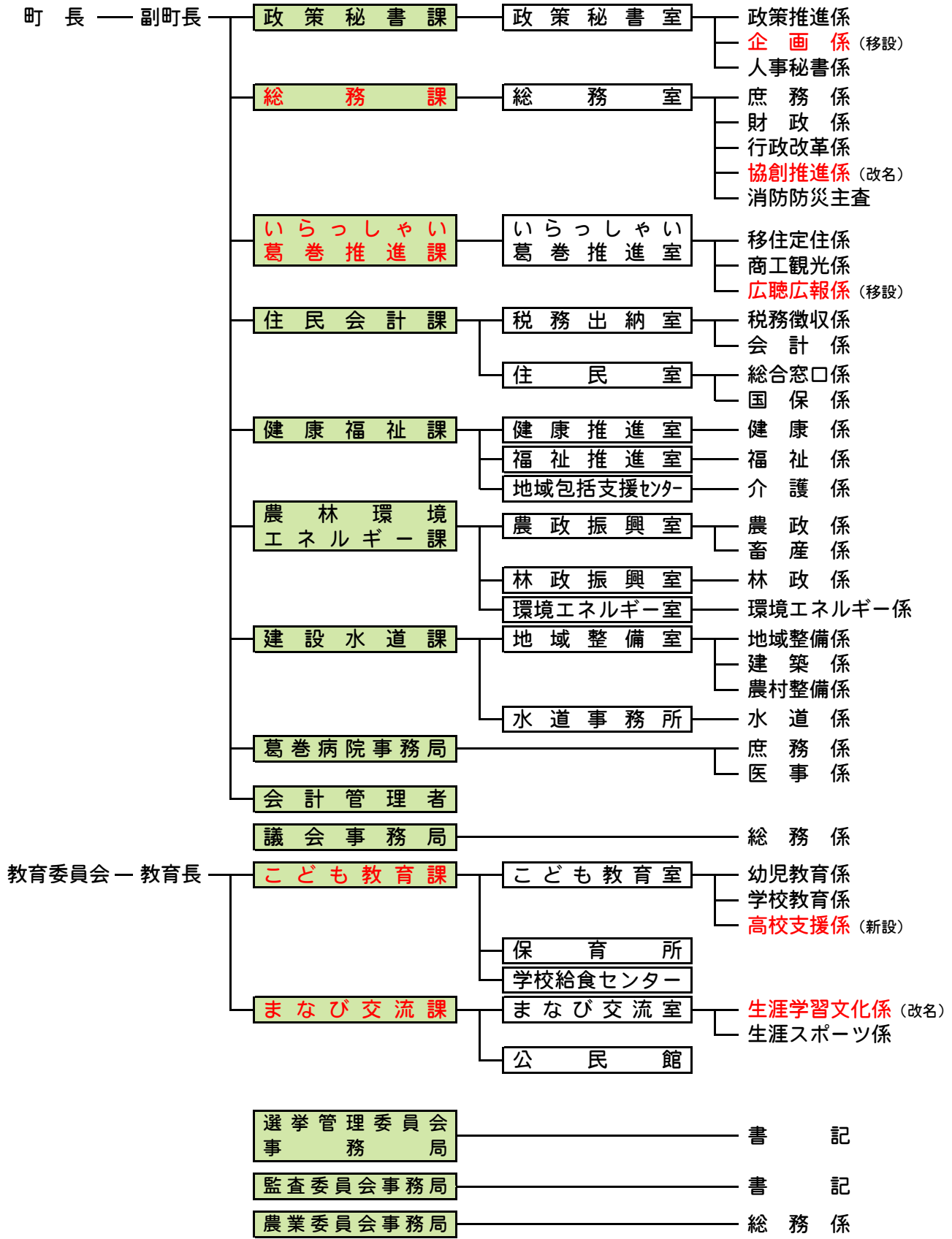
## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

<b>1 業務活動収支 A</b>	<b>7.7億円</b>
業務支出	39.9億円
業務収入	47.7億円
臨時支出	1.9億円
臨時収入	1.8億円
<b>2 投資活動収支 B</b>	<b>△7.9億円</b>
投資活動支出	15.7億円
投資活動収入	7.8億円
<b>3 財務活動収支 C</b>	<b>1.7億円</b>
財務活動支出	6.8億円
財務活動収入	8.5億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	1.5億円
前年度末資金残高 E	6.4億円
本年度末資金残高(D+E) F	7.9億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.4億円
本年度末現金預金残高(F+G)	8.3億円

一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。

# 令和2年度 まちの 行政組織



※赤字は新たに行政組織が見直されたもの



まちなか検討部会



スポーツツーリズム  
検討部会



特産品検討部会

葛巻町の未来を私たちの手で創ろう！

# 「くずまき型DMO」



若者・高校生  
検討部会



観光PR検討部会



移住交流検討部会

## お知らせします！ まちの行財政 2020

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場  
総務課行政改革係までお気軽にお寄せください。

TEL:0195-66-2111 (内線 222) FAX:0195-66-2101  
ホームページ <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり約176円です。



スマホの方は  
こちらから